

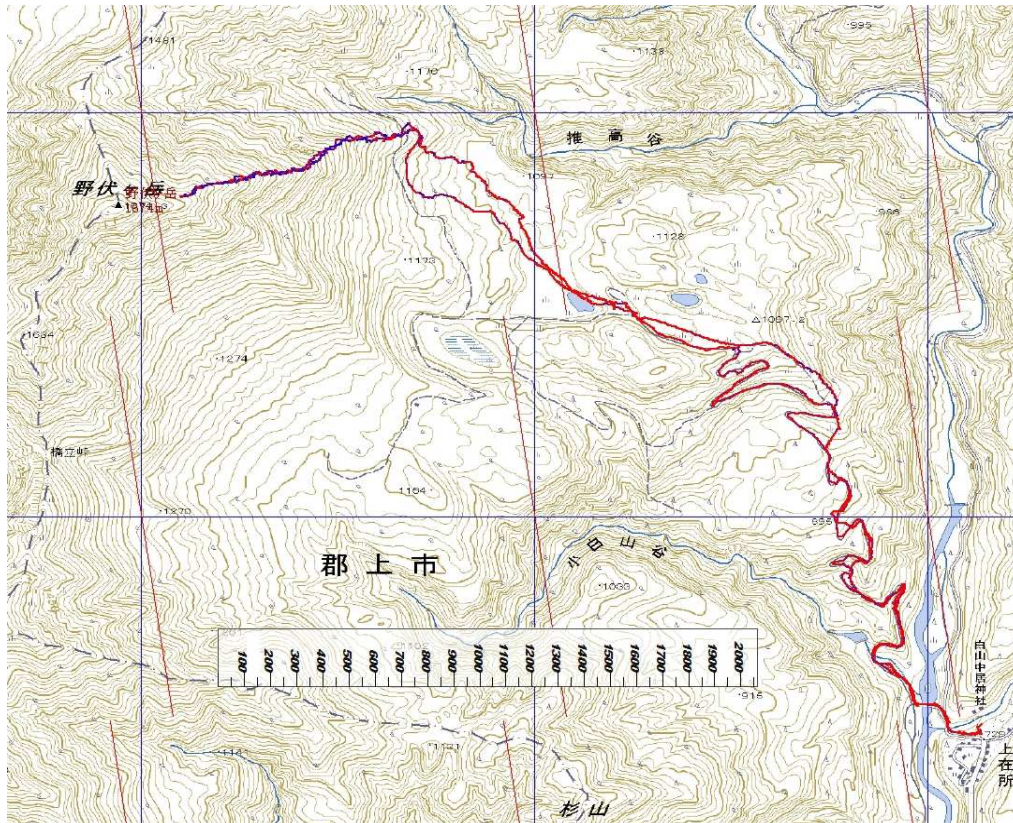
# 山行報告書

作成:2013年3月14日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	野伏ヶ岳[岐阜]	目的[方法]	雪上訓練及び山スキー
期間	2013年3月9日(土)~3月10日(日)	形態	テント泊、雪洞泊
参加人数	4人	入下山地	白山中居神社
3/9(土) 晴れ	Y宅(435)==集合地(445)==M宅(450)==豊田南IC(500)==白鳥IC(7:05)==白山中居神社 P(840,900)-TS1(1145) テント設営/昼食 雪洞 1300-1600 雪上訓練 1300-1600 就寝 2000		
3/10(日) 曇/雨/雪/晴	TS1(400,615)-野伏ヶ岳手前-テン場(1125,1225)--白山中居神社 P(1355,1425)==美人の湯 (1505,1650)==白鳥IC(1655)==豊田南IS(2000)		

概念図:



## 日誌

駐車場の約200メートル手前にスキー場があり、そこで渋滞にあった。また、駐車場は狭く、多少混んでいたため、縦列駐車して車を停めた。1人では難いため、Iさんに誘導してもらった。駐車場トイレ有。出発してからすぐに雪に嵌ってしまう箇所があったため、ワカンを装着した。すごく苦労して、いつの間にかほかのグループは先に行ってしまった。そしてなんとか付けて登っていると、いつもと歩き方が違うため、少し苦労した。また、この日は天候にすごく恵まれて、とても暑かった。Mさんたちがゴールデンウィーク並みだと話していた。林道を抜ける手前でみんなと合流して、テントが張れそうで雪洞が作りやすいところまで行った。テントを張り、昼食を摂ったあと雪洞組と雪訓組に分かれた。雪訓は、急な斜面の昇り降りやピッケルの使い方、雪に埋もれた人の救助などやった。しかし雪がふかふかでうまく練習できなかった。また、ビーコンもうまくいかず、Yさんののを借りて行った。雪訓が終わり、夕食の時間になり Mさんお手製の鍋ときのこの炒め物、Yさんのポッポヤキなど食べた。おいしい料理ありがとうございました。そして、夜は雪洞で寝させてもらいました。翌日は朝は曇っていて、少し登ったところでアイゼンを付けた。とてもあるきずらく、1、2回転んでしまった。そして標高が高くなるにつれ、雨、風が強くなったためテント場に引き返した。下りはまだ楽で、途中からは滑り台のように滑って行った。テント場に着くと、雨は止み、暫くすると霰になり、雪になった。この2日間で雪山の楽しさと辛さを体験できたと思った。

## 【感想】

初日の天気は本当によく、雪山の防寒対策もほほいらないくらいだった。また、夜もすごくいい天気で、満天の星空を見ることができた。また、雪訓の時にどのくらい雪があるのか測ったところ2メートル30センチを超えるくらいあると聞いてとても驚いた。夜は雪洞組が作った雪洞で寝られると聞いて、とても嬉しかった。しかし、夜眠っていると雪洞が壊れて死んでしまう夢ばかり見て結局ぐっすりとは眠れなかった。翌日は多少寝不足で少し辛かったが、頂上付近の暴風雨にすぐに目が冷めた。2日目はとても辛い山行だったと思った。しかし、夏山では絶対にできない体験だったため、また雪山に挑戦したいと思った。